

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2014年7月号

6月市議会は、23日に閉会しました。市議会・一般質問の内容を報告します。

「医療・介護総合法」施行は 市民生活に大きな影響



(質問する福間)

6月16日に質問をおこないました。私は19本もの法律を一括審議は大問題。法案の大きな柱である「地域包括ケアシステム」は高齢者を病院・

施設から追い出し「在宅」へ誘導します。しかし病床の再編削減をすすめ、介護は要支援者を介護保険から外し、自治体の地域支援事業に移行するなど、ひたすら予算削減のためである。市民生活への影響について見解を求めました。

福祉保健部長は「市民生活に大きな影響が予測される」と答弁しました。医療・介護改悪法の実施を許さないたたかいを強めていきましょう。

川内原発の再稼働中止を



原発周辺住民の人格権が侵害されると大飯原発の再稼働差し止めを言い渡した福井地裁判決について「個別の判決の評価は

差し控えたい。上告しているので見守りたい」。

川内原発の再稼働については「国策として総合的な検討は最重要課題、エネルギーミックスを示すとしているので動向を注視する」と企画部長は答弁しました。

政府が閣議決定した「原発を重要なベースロード電源」とするエネルギー基本計画に95%が反対しています。原

発と人類は共存できません。

原発再稼働中止、原発ゼロの運動を広げていきましょう。

家庭ごみ有料化は凍結を

説明会のあり方については「説明会時間は十分に確保する、有料化の目的、手数料の使い道、基金などは丁寧な説明をする」「指定ごみ袋の入札価格高騰によるごみ袋の値上げはしない」「11月実施に向け着実にとりくむ」と環境部長は答弁しました。市民の理解と納得が得られていない家庭ごみ有料化の凍結の声を大きく広げていきましょう。

教育委員会制度改悪は 教育の自主性を侵害する



「権限と責任の所在が不明確である」などの課題解決のために法案は成立した。新しい制度の施行に向け準備し、適切な対応をする」と

教育部長は答弁しました。

独立した教育委員会を国や自治体の首長の支配下におくことは、権力者が思うがままの教育をすすめようとするものです。過去の戦争を美化する歴史教科書採択、競争をおおる学力テストの公開、ひいては「戦争する国」づくりへの一貫でもあります。改悪の具体化を許さない運動を教育関係者のみなさんととりくみましょう。

暮らし・地域の問題など

ご意見・ご要望をおよせください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

